

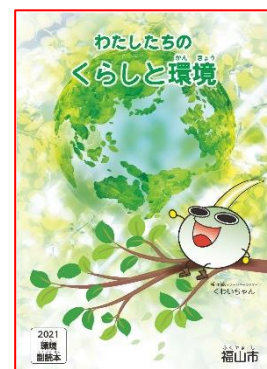
第5章 持続可能な社会を担う人づくり

第1節 環境学習・環境教育の推進

1 環境学習・環境教育の推進

(1) 環境教育副読本

本市では、1996年度（平成8年度）から、環境教育副読本「わたしたちのくらしと環境」を作成し、市内の小学校に配布しています。2021年度（令和3年度）は、市内の小学校（4年生）に向けて5,073部を配付しました。また、市内の小学校を対象とした環境やごみに関する出前授業において、副読本を活用しました。



(2) 出前授業・出前講座

市内の小・中学校では、社会科や総合的な学習の時間などにおいて、環境をテーマに、地域の特色を活かした環境学習に取り組みました。

本市では、学校教育や社会教育の場における環境学習を推進していくため、小・中・高校生や地域住民を対象に、ごみや環境に関する出前授業・出前講座を行っています。

<2021年度（令和3年度）実績>

	廃棄物		水・大気		合計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数
保育所	0	0	0	0	0	0
幼稚園	0	0	0	0	0	0
小学校	18	962	6	269	24	1,231
中学校	0	0	0	0	0	0
高等学校	1	280	0	0	1	280
その他	8	186	2	66	10	252
計	27	1,428	8	335	35	1,763

(3) 環境学習応援プロジェクト

福山市内の小・中学校から環境保全活動に関する実施計画を募集し、活動を支援しました。

<環境学習応援プロジェクト>

○2021年度（令和3年度）支援校：7校

- ・松永中学校 ・広瀬小学校 ・深津小学校
- ・新市小学校 ・引野小学校 ・箕島小学校
- ・神村小学校



(4) 環境講座

ア 環境保全講演会

日 時	2021年(令和3年)11月1日(月)～11月7日(日)
開催形式	WEB配信(YouTube) 申込者限定
講 師	さかなクン(国立大学法人 東京海洋大学名誉博士・客員教授)
テ ー マ	さかなクンのギョギョッとびっくりお魚教室!
内 容	小学生を中心とした家族向けの、環境をテーマにした講演会
申 込 者	2,620人
視聴回数	3,185回



イ 食品ロス学習会

福山市と生協ひろしまは、2021年9月30日に「包括連携協定」を締結し、環境側面の連携企画の一環として、食品ロスをテーマに学習会を開催しました。

食品ロスとは、本来食べられるのに捨てられてしまう食品であり、家庭から発生する「家庭系食品ロス」と事業活動に伴って発生する「事業系食品ロス」の二つに分けることができます。

また、食品ロスを減らすことで、食料の有効利用や地球温暖化防止にもつながるため、各家庭において食品ロスを出さない取組を実践しながら、ごみの減量化を図っていく必要があります。

本講座は、小学生の親子を対象に未来の環境のために「一人ひとりができること」「家庭でできること」を学びながら、環境に配慮した生活を促しました。

期 間	2021年(令和3年)12月4日(土) 13時30分～15時30分
参加者	7組 19名(子ども10名(未就学児2名含む), 大人9名)
テ ー マ	「食品ロスと地球の未来を考える」



(5) 環境関連施設等バス見学

市民団体を対象にした、箕沖地区の次世代エネルギー施設やごみ処理施設、リサイクル施設などの環境関連施設を対象に、借上げバスによる見学を実施しています。

※2021年度（令和3年度）は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため実施していません。

(6) こどもエコクラブ

子どもたちの自主的な環境学習を支援するために、環境省では1995年（平成7年）から「こどもエコクラブ事業」を実施しています。本市では、2021年（令和3年）3月末現在、3クラブ398人が登録しています。

環境教育・環境学習で扱われる内容は、身近な環境問題やごみ問題に関するものから、環境科学に関するもの、更にはライフスタイルや社会経済活動に関することまで多岐にわたっています。

2 環境学習資材の提供

本市では、多くの市民に環境問題について関心を持っていただくため、環境啓発パネルなど環境啓発用品の貸出を行っています。

<2021年度（令和3年度）実績>

種 類	貸出回数	貸出枚数
3 R	2	17
地球温暖化	0	0
絶滅危惧種	1	3
生物多様性	0	0
合計	3	20

第2節 環境啓発の推進

1 環境体験講座の充実

(1) eco ちゃれんじ講座等

福山市リサイクルプラザ（愛称：エコローズ）では、施設の見学や視察の受入れを行うとともに、eco ちゃれんじ講座や情報提供の場を設け、ごみの発生抑制やリサイクルの啓発推進を行っています。

・事業内容

内容	年度	2020年度（令和2年度）		2021年度（令和3年度）	
来館者数計		10,897人		8,536人	
eco ちゃれんじ講座		111回	1,292人	53回	442人
貸館業務		52回	854人	29回	434人
視察・見学		29回	999人	21回	1,059人
イベント等		2回	2,973人	4回	6,336人
施設利用		—	4,779人	—	265人

・eco ちゃれんじ講座

【2021年度（令和3年度）】

講座名	回数	講座名	回数	講座名	回数
こども対象講座	5	デニムエコバッグ	1	エコバッグ	2
布ぞうり	2	サンドブラスト	3	水引	5
布リフォーム	4	PPバンド	1	一合枿BOXづくり	1
押し花	6	籐手芸	2	紙すき	1
木工	5	正月飾り	1	ジオラマライト	2
包丁研ぎ	5	雪だるまつくろう	1	クリスマスリース作り	1
ガラス溶融	5			合計	53

(2) 水生生物調査

川の中には、魚、水生昆虫、貝、ヒル、イトミミズなどたくさんの生き物が生息していますが、水がきれいであるか、汚れているかによって生息する生物の種類が異なります。その性質を利用して、川の汚れがどのくらいか、簡単に調べる方法として「水生生物による水質の調査法」が環境省と国土交通省の合同で示されています。これは、指標（ものさし）となる生物の生息状況を調べることによって、水の汚れの状態を“きれいな水（水質階級Ⅰ）”“ややきれいな水（水質階級Ⅱ）”“きたない水（水質階級Ⅲ）”“とてもきたない水（水質階級Ⅳ）”まで大きく4つのランクに分けられています。

特別な道具を必要とせず、比較的簡単に調査することができることから、水辺に親しみながら体験的な学習をすることができます。

2021年度（令和3年度）は、学校、市民団体等8団体335人が参加し、市内の7河川について調査を行いました。



（3）磯の生き物調査

磯に生息している生き物を指標として、海域の水質状況を判定する方法で、「磯の生物による水環境の簡易評価法」があります。緑藻類、紅藻類、甲殻類、貝類、カイメン類、ホヤ類など大きく6種類の生き物の生息を確認することにより、海の汚れの状態を“大変きれいな海”“きれいな海”“ややよごれた海”“よごれた海”まで大きく4つのランクに分けられています。

磯での調査は、不思議な生き物の発見等、海辺に親しむとともに環境教育の一環として、環境カウンセラー及び環境保全アドバイザーを講師として招き、仙酔島の水環境の評価を行いました。

日時 2021年（令和3年）8月5日（木）13：00～17：00

場所 鞆公民館，仙酔島海浜（彦浦）

対象 環境保全に関心のある方なら誰でも参加可能

内容 磯に生息する生物を見て、触れて、楽しく調査し、仙酔島の水環境について評価

参加者 51人



2 環境イベント等での啓発

（1）ごみ収集車による啓発活動

ア 「環境保全ポスター」をごみ収集車に掲示

（2007年〔平成19年〕1月～）

「環境保全ポスター」の最優秀賞及び特別賞の作品をごみ収集車に掲示しています。



イ ごみ収集車のナンバープレートを「530〔ごみゼロ〕」に統一

(2007年〔平成19年〕9月～)

環境センターのごみ収集車のナンバープレートを「530〔ごみゼロ〕」に統一しています。



ウ ハイブリッドディーゼルのごみ収集車、ダンプ車を導入

(ごみ収集車 2008年〔平成20年〕11月～, ダンプ車 2009年〔平成21年〕12月～)

ごみ収集における二酸化炭素排出量削減をめざす取組の一環として、ディーゼルエンジンと電動式モーターを組み合わせた「ハイブリッドディーゼル」のごみ収集車及びダンプ車を導入し、各環境センターに配備しています。

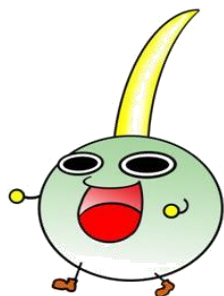


ハイブリッドディーゼルのごみ収集車 ハイブリッドディーゼルのダンプ車

(2) 「くわいちゃん」による啓発活動

「くわいちゃん」は、2007年度（平成19年度）に環境をより身近に感じ、そして効果的な事業を展開するため、市にちなんだ動植物、特産物、自然などを生かした環境イメージキャラクターを募集し、多くの応募の中から「くわいちゃん」が選ばれました。まっすぐのびた芽でエコな情報をキャッチし、みんなにエコな芽が出るように各環境イベントやパンフレットなどで使用し啓発活動を行っています。

また、環境部所有の電気自動車には「くわいちゃん」の絵を掲示しており、脱炭素社会を推進する環境にやさしい車両として、市民への啓発に使用しています。



福山市環境イメージキャラクター
「くわいちゃん」

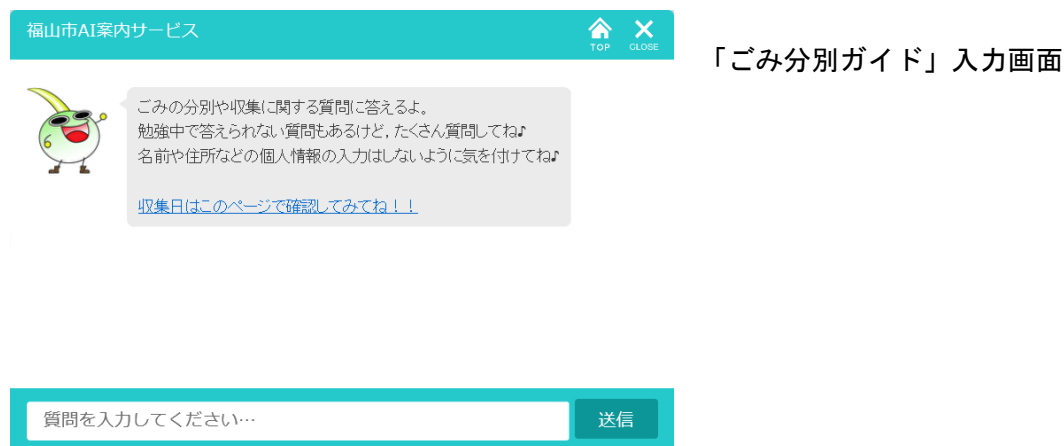


(3) 「ごみ・環境情報」の福山市メール配信サービス

事前に登録された方の携帯電話やパソコンに、防災情報や安心・安全情報、イベント情報を配信するサービスを実施しています。2015年(平成27年)12月1日からは、新たに「ごみ・環境情報」の 카테고리を追加し、休日のごみの受入れや収集に関する情報、環境部主催のイベント情報などを分かりやすく配信しています。

(4) 「ごみ分別ガイド」の福山市AI案内サービス

2020年(令和2年)10月28日からAIチャットボットサービス「福山市AI案内サービス」を実施しています。対話形式でごみ分別等の問い合わせに自動回答する「ごみ分別ガイド」を導入しています。



(5) 環境部公式Twitterアカウント「くわいちゃんの芽」による情報発信

2021年(令和3年)4月1日から環境部公式Twitter「くわいちゃんの芽」による情報発信を開始しています。

リサイクルプラザなどのイベント情報や身近な環境情報などを配信しています。



(6) 環境企画展

里地里山をテーマにした環境企画展を実施しました。

日時 2021年(令和3年)10月19日(火)～
2021年(令和3年)12月19日(日)

場所 福山市リサイクルプラザ他

参加者 2,777人(体験型イベント参加者含む。)

内 容 「里地里山に暮らす生きもの」をテーマに、パネル展示、標本展示、生態展示や動画配信などを行い、期間中には親子で参加できるイベントを実施しました。



【体験型イベント】

【1回目】

日 時 2021年10月24日（日）

場 所 堂々公園

参加者 29人

内 容 里地里山を散策しながら自然に触れ、身近に暮らす生きものの採取と観察を行った。



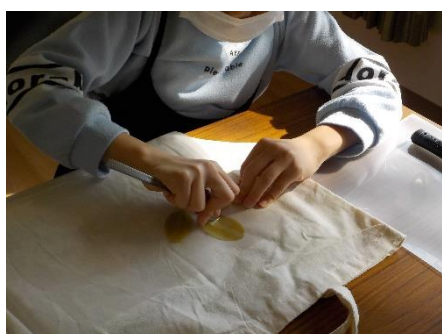
【2回目】

日 時 2021年11月21日（日）

場 所 ふくやまふれ愛ランド

参加者 12人

内 容 秋に色づく草木の葉を利用し、たたき染めを実施しました。



(7) “3R 推進月間・食品ロス削減月間” ミニイベント

10月の「3R 推進月間」,「食品ロス削減月間」に合わせ,2021年(令和3年)9月30日に「包括連携協定」を締結した生協ひろしまと共同で,ミニイベントを実施しました。

日時	2021年(令和3年)10月10日(日)10:00~15:00
場所	福山市リサイクルプラザ
参加者	313人
内容	食品ロスに関するパネルの展示,お楽しみブース,子ども服リユース市など,複数の催し物を実施しました。



(8) マイバッグの推進啓発

2020年(令和2年)7月1日から,レジ袋の過剰な使用の抑制などを目的に,プラスチック製買物袋を扱う小売店を営むすべての事業者を対象に,全国一律でレジ袋の有料化がスタートしました。

身近に取り組めるマイバッグの利用は,家庭ごみの発生抑制,海洋プラスチックごみ問題の対策など,幅広い課題に対応する行動として,市民や事業者への積極的な啓発活動を推進しています。



《マイバッグ利用促進啓発ポスターの製作・掲出》

マイバッグの持参を促す啓発ポスターを製作し,スーパー・コンビニ等の小売店や公共施設に掲出をしていただき,市民・事業者へ周知・啓発を図りました。

【主な掲出先】

市内の小売店21事業者,本庁舎等公共施設,JR福山駅等駅内など

《その他,啓発ポスターを活用した周知・啓発》

作成した啓発ポスターのデータを活用し,SNS等電子媒体や,新聞・情報誌への掲載などにより広く市民へ周知・啓発を図りました。

【マイバッグ利用促進啓発ポスター】



第3節 環境コミュニケーションの推進（公害苦情）

1 定期的な意見交換

シャープ福山レーザー株式会社の事例

シャープ福山レーザー株式会社（大門町旭1番地）では、積極的に地域住民とのコミュニケーションを推進するために、事業者、地域住民（野々浜学区）、行政（福山市）の三者による事業所排水の採水測定を行っています。三者が集まって排水を採水して、それぞれ別の分析機関にて分析を行い、後日その結果を持ち寄り照合して、問題がないことを三者で確認しています。三者が集まり、排水の話だけではなく、様々な意見を交換できる機会の一つにもなっています。



三者採水の様子（出典：SHARP 2021年度福山事業所環境レポート）

2 公害苦情

（1）公害苦情に係る相互理解の促進

公害苦情解決の主な解決内容をみると、大気汚染については、野焼きの中止、焼却炉の適正管理に努めるなどです。

水質汚濁については、排水処理施設の設置、施設の適正な維持管理、汚泥・油の回収などです。

騒音・振動については、窓・シャッターを閉めての操業、音響機器などのボリュームを下げる、早朝・夜間の作業には気をつけるなどです。

悪臭については、設備の改善や原因物質の除去等により改善しています。

このように、公害苦情の多くは、発生源に対する適切な指導と、発生源者が周囲の環境に配慮した操業を心掛けることで解決します。

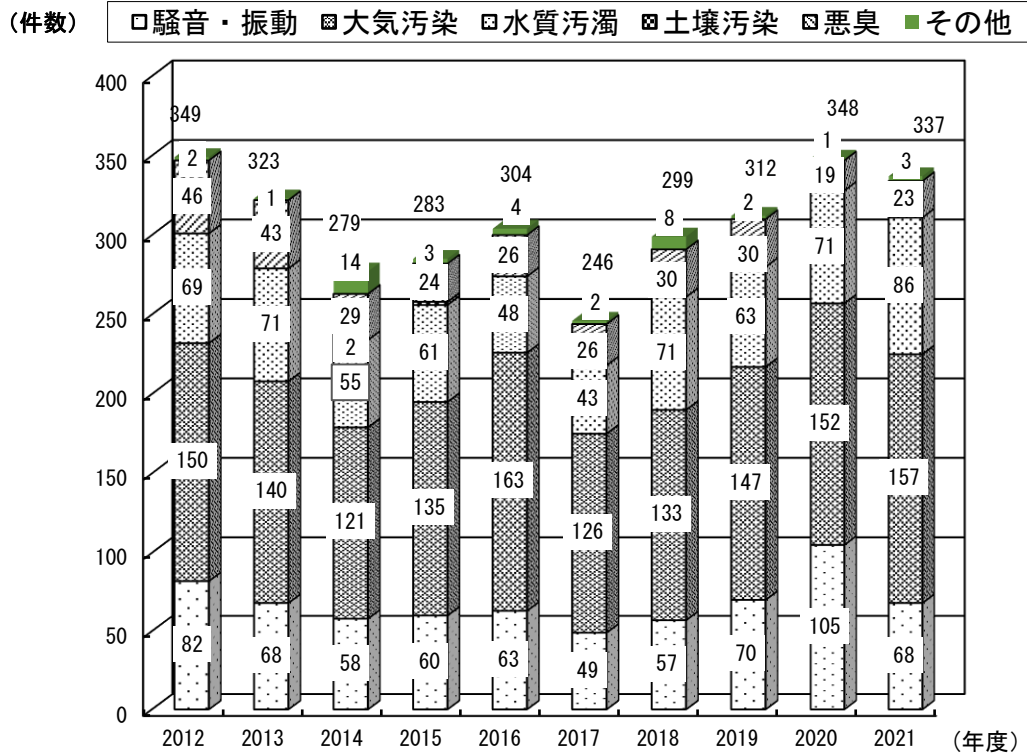
（2）年度別及び月別苦情件数

2021年度（令和3年度）に、市民から寄せられた公害苦情件数は337件でした。

その種類別内訳は、大気に関するもの157件（46.6%）、水質に関するもの86件（25.5%）、騒音・振動に関するものが68件（20.2%）、悪臭に関するもの23件（6.8%）、その他が3件（0.9%）となっています。

また、月別では、平均して月に約30件の苦情が寄せられています。

公害苦情件数の経年変化



2021年度（令和3年度）月別苦情件数

